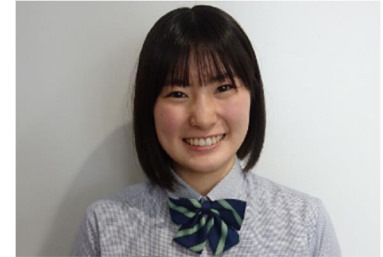


題名 原爆から学んだことと平和な世界になるために

鹿沼市立北押原中学校 (氏名) 神山 優芽



戦後80年という節目の年に広島の平和記念式典に参加して、改めて戦争の恐ろしさ悲惨さを感じました。広島平和記念資料館にあった被爆者の遺品の数は想像以上に展示されていました。1つ1つの展示物を見るたびに胸がしめつけられ、平和の尊さを身に染みて感じることができました。原爆がたった1度広島に落とされただけで自由を奪われてしまったと思うと心が痛みました。また被爆者の講話や全国の中高校生との平和へのディスカッションを通して、過去の出来事に1人1人がしっかりと向き合って、多くの人が戦争の脅威や命の尊さを自分のこととして考えていくべきだと思いました。今回の経験を通して、ただ「戦争はよくない」と言うのではなく歴史から学んだこと、感じたことを周りに伝えていきたいです。